



無料

または

自己負担
1000円

で

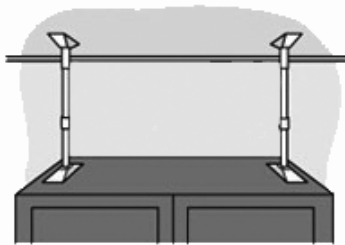
火災や地震時に威力を発揮

高齢者世帯に朗報！



火災や地震の際、高齢者の方が逃げ遅れるケースが大変に多くなっています。そこで杉並区では今年から、一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、障害者が属する世帯に、火災警報器と家具転倒防止器具を取り付ける新事業をスタートさせることになりました。渡辺ふじおの区議会での提案が実現したものです。約1億1千万円の予算がつかしました。

制度が始まるのは今年6月ごろから。1世帯につき火災警報器は2カ所、家具転倒防止器具は4カ所まで設置でき、取り付け費用も助成されます。詳細が決まり次第、区報に掲載されます。



自己負担額について

- * 65才以上の高齢者の一人暮らしか、又は高齢者のみのご家族世帯の場合、非課税世帯は無料、課税世帯は1000円負担
- * 障害者、難病者のいるご家族世帯の場合、非課税世帯は無料、課税世帯は1000円負担

火災警報器と家具転倒防止器具の
取り付け助成制度がスタートします

中学校 部活動の予算が6倍に！

顧問やコーチ不足に悩む中学校の部活動を充実・活性化させようと、部活動の予算がこれまでの年間750万円から4600万円へと約6倍にも増額されます。この予算で、スポーツや芸術のプロを顧問などに招き、質の高い指導を可能にするとともに、新たに「部活動コーディネーター」を配置して部活動のいっそうの充実に取り組みでいくことになりました。

渡辺ふじおは区議会で、阿佐ヶ谷中学陸上部のコーチを自ら引き受けている体験を通して顧問不足の問題を取り上げ、「生徒たちのためにもっと部活動の充実を」と訴え、今回の予算増額を勝ちとりました。



スポーツや芸術のプロが指導員に「部活動コーディネーター」も配置